

『警察・官僚の支配と対決し、

プロレタリア革命を

準備しよう!』

プロレタリア行動委員会〈準備会〉

1 警察・官位階級の再編と、地方の

最近、官位階級の再編と、地方の
すみずみにまで至る由な集権的支配
の強化が進んでいる。マルシヨマミ
ーは、その支配機構があらゆるこ
ころびを肩せ始めている現象に対
し、自衛理・支配のための情報網を
りめぐらせ、より機動的・機動的に
対処しようとしているのである。そ
れはまた、膨大な海外資産をもつに
至った日帝が、その防衛のために、

国際情報競争の流動に迅速かつ有効
に対処しなければならぬ、という
要請に基づき、侵略及革命機能の強
化を推していること一はである。
マルシヨマミは、7月以降、安
全保障会議、合同情報会議等を奨励
させ、「内閣先遣」即ち、国内外を
貫いて教化する情報競争を圧殺する
ための司令・統合、情報収集機能の
確立を急いでいる。同時に、警察庁

公安一課の増強、千葉自衛隊りラ対
策本部設置、全国「過激派10番」開
設等、警察庁長官山田の「5・7自
言」は前々々と物質化し、若安強
圧、管理支配を強化している。

また、その参加、日米三軍統合
実動演習、自衛隊増強等、国際帝国
主義の反革命軍事は前の一環をなす
日帝の軍事力も急速に強化されてい
る。

今、日帝の政者・軍事・外交との
コトの由で、それらを、マルシヨマ
ミの「統合的政略判断」の下で統
括する「指令部」―官位・警察機構
の動向に注意を払い、それを掌握す
ることが、ますます重要になっ
てい
る。

国際テロ

防止へ刑法改正諮問

陸海空自衛隊と米三軍
初の統合演習

永住はカード化

外国人登録証で方針

治安維持法改正案

指紋検査制度の段階的改正を
試みる

国際戦略研
年次総会

アジア安保討議

―日本と初の開催―

2 国際階級闘争の高揚と帝国主義のI・I・W戦略

この間、南朝鮮、フィリピン、南洋、エルサルバドル、千島等、全世界で、特にA.A.L.A諸国での帝国主義支配に対する、政治的自由や民族の解放を掲げた斗争が活性化し、噴出してきている。

これらの斗争の特徴は、ハリラカら労働のゼネストまで、様々な斗争、戦術が駆使され、その中で、プロレタリアート、人民の武装の発展がなされ、ラジカレ化が進み、そして、政府権力を打倒する革命的な政治運動が

24時間スト呼びかけ

両人共闘 金鉞山惨事に抗議

新人民軍と
政府軍衝突
双方に死傷

日本大使館
近くで爆発
西ベルリン



延世大前門の元隊400名「イデア会決死絶止！」

学生5人が乱入

ソウルの日本文化センター「中曽根訪韓」反対

テロ組織が大ゼネスト

ひきあされていることも、その先頭に労働者階級がなっていること等にもあらわれる。この斗争の高揚に対し、マルティニョマミーは、例えば、軍部を打倒する一員自衛的政府への首の打たえで対処せんとしても、抑えるべき的の解決や、労働者・貧民の要求を根本的に解決しえず、反動化を進めている。だからこのことは、各国マルティニョマミーや労働者とは「無数の系」を結びついたり、軍部・官僚・治安警察に対するプロレタリアート、人民の斗争を、一層激化のものにしていく。また、また分散、孤立しながらも、プロレタリアートの国際的交流が促進されつつある。

金浦空港テロ

全土で厳戒態勢

韓国治安本部発表 爆弾は手製時限式

フィリピン サラス氏ら3人起訴

反乱罪 共産側へ強硬姿勢

このように事態に対し、帝国主義列強は、先帝打倒にこころまらさず、I・I・W戦略「策」をもって、プロレタリアート、人民の斗争により、政治的、巧妙に、かつ暴力的に襲撃し、なかり、その分断と解体を期している。今、国際階級斗争にとって、この帝国主義列強のI・I・W戦略編とどこもいっぺん支配体制との対決が、急務となっている。

米・エジプトが リビア沖演習

軍事演習の 情報戦、心理戦、など
総体を見れば、米の進軍の侵略的

テロ鎮圧部隊
英駐留を
米が要請
英紙報道

イスラエルに原爆秘密工場



対テロ、対テロ特殊部隊は、この向
世界中至るところで建設されている。こ
れは米の会議上備えられた「ペンタゴン」

3 日帝・ブルジョア国家の「障壁」を打ち破る革命的行動を

ここで、何にもまして重要なことは、プロレタリアートの、武装した緊密な国際的結合をつくり出すことである。

日本のプロレタリアートは、この課題にこたえるために、少くとも、情勢に即応して国際連帯行動を組織するとともに、排外主義と斗争し、外資法・入管体制を軸とした在日外国人（朝鮮人）に対する差別・抑圧同化・治安管理とのヨリの先頭に立たなければならぬ。

同時に、自国帝国主義政府と対する政治行動を積極的に組織することである。今秋、三里塚二期着工、日米三軍統合演習、国家総動員法制定策動、そして、天皇、奉祀武典

パレード等を焦点とした集会、デモ、街頭宣伝行動を大衆的な共同行動として創出しよう。

さて、現在こうしたヨリの中で、権力の治安増強、暴力支配との斗争や、武装右翼との斗争が特別な重要性を帯びて浮上している。

プロレタリアートは、政治的自由を防衛し、拡大する左翼の運動の結合を實現するとともに、権力（機動隊・政治警察）右翼との直接対決をフライングして、種々の戦い経験を積み重ね、ブルジョア国家機構の対極に立つ武装した組織と、大衆的陣型の建設を促進しよう。



「プロレタリアートの国際共同行動を！東京新ミット！」中央斗争（呼号：加川行動隊、全国激政）

4 プロレタリア革命を準備する論戦と共同行動を組織しよう

このヨリを、真に革命的で大衆的なものに発展させるために、プロレタリアートは、ブルジョア国家機構を破壊して、どのような権力を樹立するのか、そして、その下で、労働・生産・分配・消費や、新たな社会的関係をいかに再組織していくのかを明確にする必要がある。

なぜなら、貧困・失業・生活破壊・自然破壊、そして、戦争・軍拡・反動・差別・民族抑圧等々は、資本主義、帝国主義の経済的本性によってその基礎をおりているのである。一連の社会的災禍の根本的解決は、資本主義、帝国主義そのものの打倒、危機を通じてしかなし得ないからである。

「資本主義国と結合し、その援助を受けることと後進諸国の発展が約束される。」「先進国では、貧富の差や、階級の差は消滅する。」……こうしたブルジョアジーの甘言は、今や全面的な破壊を露呈している。今日、巨大化し、国境をこえる金融独占資本とのヨリや、帝国主義的権益、ブルジョア支配秩序に対する挑

革命に向けた共同行動と論戦を

組織しよう

12.23 都集



戦と叛乱が全世界で噴出してきている。日本でも、階級分裂は一層拡大し、下層を覆う危機の深刻化は、ますます資本主義、帝国主義自体をめぐり問題を浮きぼりにしつつある。一見、盤石に見えるブルジョアジエの支配が、根柢から崩れさる危険が増大しているのである。先述した

最近の国家機構の強化、肥大化は、
 コラした「難局」に対するブルジョ
 アジーの「解答」に向かならぬ。
 だからこそ、個別的な政策反対斗
 争から革命に至る道すじ(戦略)を
 主観的に描き出し、その道いをもぐ
 って四分五裂している日本の反政府

反権力運動の現状を改善しなければ
 ならない。求められているのは、ブ
 ルジョアジーの政治・経済・軍事・
 外交の総体にヒッてかゆるフロレタ
 リアートの革命的方針である。その
 内容をめぐる全面的論争をスローガ
 ンに煮つめ上げ、ブルジョア国家機

5 フロレタリア行動委(衛)の斗いと、今秋の政治行動計画

我々フロレタリア行動委(衛)は、春
 期、4・29、天皇在位60年式典レヤ
 5・4、東京デモストレを中心とし
 た大衆的政治決起の中で、フロレタ
 リアート独自の政治的任務を掲げ、
 組織された行動部隊を登場させた。
 フロレタリアートの国際共同行動
 フロレタリア革命政府樹立レ、ス
 企業・金融機関の収奪レ等代表レ

れる革命の具体的方針を中心に、例
 えば天皇問題については、「天皇
 皇族の廃止、財産・特権の没収レ」
 靖国神社・神社本庁解体レ、石翼勢
 力解体レ等、フロレタリア革命との
 関係でスローガンを提起し、我々は
 種々の運動を革命そのものを準備す
 る斗いに結合し、統一することを訴
 えてきた。我々は、このことをもつ

て、権力と対決する先進的労働者・
 学生との共同行動を政治的に牽引し
 てきた。
 コラした我々の斗いの重要性は、
 現在の情勢の中で、一層鮮明になっ
 ている。
 「中曾根打倒レ一般のスローガン
 は、斗いを議会レブルジョア政治の
 表舞台レでの攻防を通じてブルジョ

ア政府の首のすげかえに収束させる
 か、全くの空文句に終るかのい
 すれかである。また、「戦争国家化
 」「戦争とファシズム」と対決せよ
 とのスローガンは一面的であり、日
 帝が、国際帝国主義の重要な一翼を
 形成し、「東工四戦略」等、世界の
 フロレタリアート、人民の武装斗争
 を分断・破壊する攻撃に積極的に関
 与している現実には立ち遅れている。

この見地から、フロレタリア行動
 委(衛)は、今秋、9/14三里塚現地集
 会、10/4東峰裁判・千葉地裁包圍
 斗争、10/5東峰裁判有罪判決増強
 斗争行動(四条河原町)として、

レーシオン、街頭宣伝行動に立ち上
 る。権力、右翼の暴力を叩き退
 す組織された行動部隊をつくり出す
 う。

現在、第一に重要なことは、日帝・
 国際帝国主義の侵略・反革命・民族
 抑圧の具体的現れとしての斗いを通して
 フロレタリアートの自覚と組織、そ
 して武装の成長を斗いによることであ
 る。即ち、ブルジョアジーにヒッて
 かわるフロレタリアートの「カ」と
 「陣型」をつくり出すことである。

我々は、この成果をふたえ、更に
 「警察、官僚の支配と対決し、フロ
 レタリア革命を準備しよう」と10/9
 集会、10/26三里塚現地斗争、11/9京
 都・天皇、奉祝式典・パレード、反
 対斗争や、国家秘密法制定阻止斗争
 等、10/11月の政治斗争に全力で決
 起する。

労働者・学生諸君、
 この斗いを通じて、革命を準備す
 る真に堅固な団結を創出しよう。

「陣型」をつくり出すことである。

真に革命的で大衆的行動の創出
 をめがし、集会、戦闘的デモンスト

・斗争スケジュール・

10.26 (日) 三里塚現地斗争

11.2~3 反天皇制全国シンポ・全国集会 (京大教養部)

11.9 (日) 「天皇在位60年・京都奉祝式典・パレ
 ト反対」京都総決起集会 →デモ 街頭へ出る (午後1時~ 田山野音)

11.23 (日) 「国家秘密法を許さない」全関西集会

フロレタリヤ行動委員会（準備会）
連絡先▼京都田中郵便局
私書箱一七二号